

吉田町 幼児教育カリキュラム(概要版)



カリキュラムに基づいた教育を実施する施設

幼稚園

ちどり幼稚園・ひばり幼稚園

保育所等

さくら保育園・さゆり保育園
すみれ保育園・わかほ保育園
こども発達支援事業所

小学校

自彊小学校・住吉小学校・中央小学校



カリキュラム作成の目的

幼児期は生涯における人格や人間形成の基礎を培う重要な時期であり、その教育や保育活動は、幼児期における遊びや生活の中での言葉による表現や伝え合い、多様な身体を動かす活動などの経験が、その後の学力、運動能力等に大きな影響を与えることがわかってきました。

吉田町においても、幼児期に適切な教育を施すことが重要であるという認識のもと、吉田町教育大綱における切れ目のない効果的な「つながりのある教育」の推進に向け、まず、幼児期における学びを小学校の学びへとつなげるための「幼児教育カリキュラム」を作成することといたしました。

このカリキュラムを基に「育てたい子どもの姿」を共有し、子どもの発達と学びの連続性を踏まえて実践していきます。





カリキュラムの特色

1 共通認識をもった幼児教育の推進

幼稚園及び保育所等並びに小学校の関係者が、吉田町の「育てたい子どもの姿」を共有し、互いに高めあうことができるカリキュラムを作成しました。

2 つながりのある質の高い教育の推進

吉田町教育大綱における切れ目のない効果的な「つながりのある教育」の推進に向け、幼児期における学びを小学校の学びへとつなげるための質の高い教育を目指しています。

3 現場の幼児教育活動を生かしたカリキュラムの作成

幼稚園及び保育所等並びに小学校の関係者で構成する「吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会」で、これまでの幼児教育活動を最大限に生かせるよう、実践しやすいカリキュラムとなっています。

4 改訂幼稚園教育要領や改定保育所保育指針の反映

「育成を目指す資質・能力」の三つの柱や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目を基にした改訂幼稚園教育要領や改定保育所保育指針の内容を十分反映させています。

5 子ども一人ひとりの学びの成長を見取ることができる構造

歳児別ではなく、発達段階(ステップ3段階)における目指す姿を設定し、子ども一人ひとりの学びの成長を的確に把握できる内容となっています。

6 平成29年度以降のカリキュラムの活用

ア 町内全ての関係施設でカリキュラムに基づいた教育を実践するとともに、カリキュラムの検証を行いながら、PDCAサイクルを回します。

イ 子どもの成長記録(指導者研究用)の「ピーナッツ プロフィール」を共有し、個に応じた支援を適切に行うほか、指導者の指導と評価の一体化を図ります。

※ピー → 「ピッカピカの1年生」
ナ → 「なんでも挑戦できるよ」
ツ → 「つながりのある教育」

1歳児	2歳児	3歳児	4歳児
1. 挨拶が出来るようになる	1. 挨拶が出来るようになる	1. 挨拶が出来るようになる	1. 挨拶が出来るようになる
2. ...	2. ...	2. ...	2. ...
3. ...	3. ...	3. ...	3. ...
4. ...	4. ...	4. ...	4. ...
5. ...	5. ...	5. ...	5. ...
6. ...	6. ...	6. ...	6. ...
7. ...	7. ...	7. ...	7. ...
8. ...	8. ...	8. ...	8. ...
9. ...	9. ...	9. ...	9. ...
10. ...	10. ...	10. ...	10. ...

吉田町幼児教育カリキュラム 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目一覧

項目	ステップ1	ステップ2	ステップ3	目指す姿
① 健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びの中で、遊具を使ったり、体を思いきり動かして遊びを楽しむ。 様々な食べ物に興味・関心をもつ。 健康で安全に過ごすためのルールがあることを知る。(遊び方、身支度、避難、手洗い・うがい、早寝・早起きなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 暑さや寒さに負けないで、戸外で色々な運動遊びや楽しむ。 友だちと楽しく生活や遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもって挑戦したり、諦めずにやり通すことで達成感を味わい、様々な遊びや生活に意欲的に取り組む心をもつ。 野菜を育てたり、収穫したりして、食に感謝し、美味しさを味わう。 自分で判断しながら、生活や遊びのルールを守って行動する。 	<p>集団生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。</p>
② 自立心	<ul style="list-style-type: none"> 環境に慣れ、生活の流れを知り、基本的な生活習慣を身に付ける。(食事、着脱、排泄等) 自分のことは自分で行うが、できないことは助けを借りてやり遂げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自ながら遊びや生活を楽しむ。 友だちとの関わりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標をもち、力を発揮して、苦手なことでも諦めずに挑戦する。 友だちと協力し合い、一つのことを最後までやり遂げ、満足感や達成感を味わう。 	<p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。</p>
③ 協同性	<ul style="list-style-type: none"> まわりの大人、友だちに興味をもち、関わろうとする。 相手にも思いや考えがあることを知る。 友だちと一緒に遊びや生活をする中で、一緒に過ごす心地よさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとやりとり、相手の気持ちを察する。 友だちと同じ楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で思いや考えを共有し、遊びや活動を充実させていく。 応援したり、励まし合ったりすることで同じ目標をみんなで達成する喜びを味わう。 	<p>友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p>
④ 道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活の中で良いことや悪いことに気付く。 集団生活に必要なきまりやルールの大切さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちで行動する。 必要なルールを守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを調整し、折り合いを付けるようになる。 友だちや周りに目を向け、思いやりや感謝の気持ちをもつ。 ルールやきまりを考え、工夫しながら生活する。 	<p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくらしたり、守ったりするようになる。</p>
⑤ 社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人に進んで挨拶ができるようになる。 地域のことに興味・関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に他者象をより深め楽しむ。 公共施設でのマナーを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割に責任をもって取り組むことで、人のためになることを知り、喜びを感じる。 公共施設でのマナーを守り、仲間と共同して利用する。 	<p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えたり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになる。また、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p>
⑥ 思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ものやことからかかわり、興味・関心をもつ。 思ったことや感じたことを言葉にする。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな体験試行錯誤する。 自分の考えを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 性質や仕組みに気付き、工夫して生活の中に活かそうとする。 考えたことを友だちと伝え合ったり、話し合ったりして互いに理解する。 	<p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>
⑦ 自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> 身近な水、砂、土、草花や虫などに触れることを楽しむ。 自然の美しさや不思議に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の移り変わりや栽培や飼育に関心をもつ。 自然に親しんだり、自然物を使って工夫して遊ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然について、絵本を見たり図鑑で調べたりする。 身近な動植物をいたわったり、大切にしたりして命の尊さに気付くようになる。 	<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まる。また、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていかに大切にすべきかを考えるようになる。</p>
⑧ 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、記号やマークに親しむ。 遊びの中で、形や大きさの違いなどに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や数、図形や様々な形や大きさの違いや、面白関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で数量を数えたり、比べたりする。 文字や数が生活に繋がっていることに気付き、読んだり、書いたりする。 	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>
⑨ 言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びに必要な言葉がわかり使おうとする。 絵本を通して、言葉の面白さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思ったこと、絵本や紙芝居などを通して、ストーリーや言葉の面白さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と考え言葉で伝え合い、遊びを充実させていく。 相手や場面によって使う言葉を選んで話す。 	<p>先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>
⑩ 豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽やリズムなどに合わせて、体を動かすことを楽しむ。 きれいなものを見たり、聞いたりして美しさやよさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたことやイメージしたものを自分なりに工夫して作ろうとする。 感じたことを友だちや先生などに、言葉で伝えたり、表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたり、感動したりして、作品を作る過程を楽しむ。 きれいなものや素晴らしいものを見たり聞いたりして、自分の表現に生かそうとする。 	<p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>





資質・能力の三つの柱に沿った、幼児教育において育みたい資質・能力の整理イメージ

〈知識・技能〉

何を知っているのか
何ができるのか

〈思考力・判断力・表現力等〉

知っていること・できることを
どう使うのか

〈学びに向かう力・人間性等〉

どのように社会、世界と関わり
よりよい人生を送るか

小学校以上の教育



幼児教育(環境を通して行う教育)



〈知識・技能〉

遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じ、何に気づき、何が分かり、何ができるのか

- ・基本的な生活習慣や生活に必要な技能の習得
 - ・身体感覚の育成
 - ・規則性、法則性、関連性等の発見
 - ・様々な気づき、発見の喜び
 - ・日常生活に必要な言葉の理解
 - ・多様な動きや芸術表現
- のための基礎的な技能の基礎の獲得 等



〈思考力・判断力・表現力等〉

遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使いながら、どう考え、試し、工夫し、表現できるのか

- ・試行錯誤、工夫
- ・予想、予測、比較、分類、確認
- ・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ・言葉による表現、伝え合い
- ・振り返り、次への見通し
- ・自分なりの表現
- ・表現する喜び 等

〈学びに向かう力・人間性等〉






心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むのか

- ・思いやり
- ・安定した情緒
- ・自信
- ・相手の気持ちの受容
- ・好奇心、探究心
- ・葛藤、自分との向き合い、折り合い
- ・話し合い、目的の共有、協力
- ・色、形、音等の美しさや面白さに対する感覚
- ・自然現象や社会現象への関心 等










国「校種間連携」研究指定について

-  **1 研究指定**
国立教育政策研究所教育課程研究センター
-  **2 事業名**
平成 29 年度教育課程研究指定校事業(2年間)
「校種間の連携による教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究」
-  **3 推進地域**
吉田町(静岡県)
-  **4 連携施設(10施設)**
自彊小学校・住吉小学校・中央小学校・ちどり幼稚園・ひばり幼稚園
さくら保育園・さゆり保育園・すみれ保育園・わかば保育園・こども発達支援事業所
-  **5 研究主題**
「子どもが『確かな学力』を身に付けることができる町を目指して」
～私立幼稚園・公立保育所等と公立小学校が連携して作成した
吉田町幼児教育カリキュラムに基づいた教育の実践と検証～



平成29年度の計画

【吉田町幼児教育振興事業(吉田町幼児教育カリキュラムの実践)】

-  **1 目的**
関係者が「育てたい子どもの姿」を共有し、その実現に向けて子どもの発達と学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。
-  **2 概要**
私立幼稚園・公立保育所等と公立小学校が、吉田町幼児教育カリキュラムに基づいた教育の実践と検証を行います。
-  **3 対象**
幼児期の教育に携わる指導者(保育士、幼稚園教諭、小学校教諭 等)
-  **4 内容**
 - ア 吉田町幼児教育カリキュラム実施委員会の立上げと指導書(解説書)の作成
幼児教育カリキュラムの進め方や指導の留意点について検証を行います。
 - イ 吉田町幼児教育カリキュラム実践園の指定と研究会(年2回)の実施
幼稚園、保育所、発達支援事業所、小学校の人的交流と研修機会を確保し、幼児教育従事者の質的向上を図ります。
-  **5 運営方法**
 - ア 現行の作成委員会を実施委員会(代表者会)とし、幼児教育カリキュラムの進め方や指導の留意点について検証を行い、検証結果は、指導書(解説書)としてまとめます。
 - (ア) 第1回(5月) カリキュラムの実践方法の共通理解
 - (イ) 第2回(8月) 実践指定園の実践事例について
 - (ウ) 第3回(1月) 検証結果の取りまとめ
 - イ 公立保育所等と私立幼稚園のそれぞれ1園を実践園として指定し、幼児教育カリキュラムに掲げられた10項目の内から指定した幼児教育活動の研究を行います。活動を参観した後は、講師による研修会を開催し、事後研修を行います。



カリキュラム完成までの流れ

- ① 平成28年7月14日(木)
学識経験者 松寄 洋子氏 吉田町内各施設視察
- ② 平成28年9月7日(水)
第1回吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会開催
※各施設職員研修(10項目を基にした目指す姿の検討)
- ③ 平成28年9月21日(水)
第2回吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会開催
※各施設職員研修(10項目を基にした各活動の洗い出し)
- ④ 平成28年11月4日(金)
第3回吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会開催
※各施設職員研修(10項目を基にした各活動の目指す姿、指導の留意点の作成)
- ⑤ 平成28年12月26日(月)
第4回吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会開催
※各施設職員研修(実践事例作成)
- ⑥ 平成29年2月28日(火)
第5回吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会開催
- ⑦ 平成29年3月29日(水)
吉田町幼児教育カリキュラム完成報告(委員長から町長へのカリキュラム手交)
(※カリキュラム作成委員会後の各施設における職員研修の内容)



カリキュラム作成委員

- ① 学識経験者
千葉大学教育学部 教授 松寄 洋子 氏
(委員長)
- ② 私立幼稚園関係者
ひばり幼稚園 園長 教諭 保護者
ちどり幼稚園 園長 教諭 保護者
- ③ 公立保育所等関係者
保育園長代表 主任保育士 保育士 保護者
- ④ 小学校関係者
小学校長代表 教諭 保護者

問合先: 静岡県吉田町こども未来課
静岡県吉田町教育委員会事務局学校教育課
〒421-0395 静岡県榛原郡吉田町住吉87番地
【こども未来課】
電話 0548-33-2153 FAX 0548-33-2155 E-mail: kodomo@town.yoshida.shizuoka.jp
【学校教育課】
電話 0548-33-2151 FAX 0548-33-2155 E-mail: gakkou@town.yoshida.shizuoka.jp